

# アナストロゾール錠1mg「EE」

を服用される患者さまへ

監修

聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科 教授 津川 浩一郎

このお薬は、閉経後のエストロゲン（女性ホルモン）合成経路を阻害し、乳がん細胞の増殖を抑える働きがあります。



アナストロゾール錠1mg「EE」は、

- 先発医薬品とほぼ同じ添加物を使用したジェネリック（後発）医薬品です。
- 患者さまのお薬代の負担が軽減されるジェネリック（後発）医薬品です。

服用・保管上の

## 注意点

次のような方は、  
事前に主治医にご相談ください。

これまでにお薬を飲んで発疹などが出たことのある方

肝臓や腎臓に病気のある方

他のお薬と併用する場合は、  
そのお薬について必ず主治医にお伝えください。

※薬局で購入したお薬も含みます。

他の医療機関を受診する場合や、  
薬局でお薬を購入する場合は、  
「アナストロゾール錠を飲んでいます」  
と必ずお伝えください。

お薬は、お子さまの手の届かないところで、  
直射日光や高温、湿気を避けて保管してください。

このお薬の  
飲み方

1日1錠を  
毎日飲みましょう。



お薬は、  
コップ1杯程度の水またはぬるま湯と  
一緒に飲んでください。

お薬を飲み忘れてしまった場合は、気がついた時に、  
できるだけ早く飲んでください。

※次の服用時間が近い場合は、1回分をとばし、次の通常の  
服用時間に1回分を飲んでください。

(絶対に2回分を一度に飲んではいけません)

多く飲んでしまった場合は、  
すぐに主治医または薬剤師にご相談ください。

自分の判断で服用をやめないでください。

このお薬の  
**副作用**  
について

このお薬は、副作用として次の症状がみられる場合があります。



### 関節痛

手の指や、  
膝、腰、肩などの  
関節が痛くなることが  
あります。




### ほてり

からだや顔が  
のぼせるように  
ほてることが  
あります。



### 発疹

皮膚に発疹が  
できることが  
あります。

まれに下記のような症状が、に示した重大な副作用の初期症状である場合があります。**これらの症状があらわれたときは、服用をやめ、すぐに医師の診療を受けてください。**

全身の皮膚や粘膜に、発疹や水ぶくれ、  
ただれができる／発熱／目が充血するなど

皮膚粘膜眼症候群

くちびる、舌、のどなどが腫れる／  
呼吸困難／発疹

アナフィラキシー様症状  
血管浮腫、蕁麻疹

倦怠感／食欲不振／  
皮膚や白目などが黄色くなる

肝機能障害、黄疸

呼吸困難／発熱／から咳

間質性肺炎

呼吸困難／胸痛／局所の痛みや腫れ

血栓塞栓症

## 生活での 注意点

眠気や注意力・集中力・反射運動の低下などの症状が現れることがありますので、車の運転や機械の操作などには十分に注意してください。

### 骨折・骨粗しょう症の予防対策

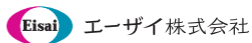
エストロゲンには、骨を健康的に保つ働きがあります。しかし、このお薬の作用により、体内のエストロゲンが減少してしまうため、骨折や骨粗しょう症などが起こりやすくなる場合もあります。治療中は、積極的なカルシウム摂取や適度な運動など、骨折・骨粗しょう症の予防に心がけましょう。



### 毎月1回、ご自宅でも 乳房の自己検診を行いましょう！

- へこみ、ひきつれ、膨らみなど皮膚に変化はないか
- 赤くはれているところはないか
- しこりはないか
- 乳頭のへこみ、異常分泌はないか





CODE ANA(1)002  
2012年11月作成